

科目名		泌尿器科学実習	
科目責任者		藤本直浩 (泌尿器科学 教授)	
開講時期:	2～4年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 90 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>尿路感染症の原因微生物の薬剤耐性メカニズムを、遺伝子学的手法を用いて検討する。男子尿道炎の原因微生物を、遺伝子学的手法にて検討し、新たな病原微生物の関与を明らかにする。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 尿路感染症の原因となる細菌の培養と薬剤感受性試験を行うことができる。 2) 性感染症の原因となる細菌の培養と薬剤感受性試験を行うことができる。 3) 薬剤感受性試験より、薬剤耐性パターンを読み取ることができる。 4) βラクタマーゼ産生菌を検出することができる。 5) βラクタマーゼの解析ができる。 6) 性感染症原因微生物の遺伝子を検出することができる。 7) 性感染症原因微生物の遺伝子解析を行うことができる。 8) マイコプラズマ・ジェニタリウムの培養を行うことができる。 9) マイコプラズマ・ジェニタリウムの培養株より薬剤感受性を行うことができる。 10) マイコプラズマ・ジェニタリウムの耐性遺伝子を検出することができる。 11) マイコプラズマ・ジェニタリウムの耐性遺伝子のシーケンスを行うことができる。 			
● 評価方法	検討会での討論・発表・レポート等で総合評価する。		
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。		